

第4回 柳瀬川回廊事業推進検討委員会（議事要旨）

[日 時] 平成29年1月24日（火） 13:30～16:00
[場 所] 清瀬市健康センター 第2会議室
[出席者] 委 員 10名
事務局4名 清瀬市 都市整備部 水と緑の環境課

[議事次第]

- (1) 寄附された土地（A～E）の活用方法について
 - ・地区ごとの利用方法（事務局案）の説明
 - ・利用方法に関する提案・意見
- (2) 柳瀬川回廊構想のレビュー
 - ・レビュー（事務局案）の説明
 - ・レビューに関する提案・意見
- (3) その他（次回日程など）

[配付資料] 次第、寄附地の地区ごとの利用方法、柳瀬川回廊事業レビュー、柳瀬川回廊コース（変更案）

【(1) 寄附された土地（A～E）の活用方法について】

寄附地の地区ごとの利用方法について、前回のまとめと配置案の説明

A地区

前回の意見では、「農園メインの利用とし、市民農園の区画、苗圃の区画に分ける」というのが一番大きな利用案。これに加えて、「5台程度の管理用駐車スペースが必要」、「南・西側が宅地開発される予定なので、後々を考えた苦情防止策が必要」ということを踏まえて資料のように配置。

A地区への意見

- ・駐車場は開けっ放しにしておくと、いろいろな方がいろいろな使い方をされる可能性があり、ぬかるむことを考え、縁石を打って砂利を敷くのと、ある程度駐車できるように車室ラインを入れ、入口にチェーンが必要。
- ・南側は住宅ができれば日影になる場所なので、図の苗圃の位置に駐車場や自転車置き場を余裕を持った大ききで作り、道路に駐車することがないようにする。
- ・苗圃は木の根が伸びるので、市民農園とつけるのは良くない。また、管理や移植のときのアクセスを考えると難しい。
- ・苗圃は管理が必要で、市民農園の一部に作るよりも、人が出入りする場所で管理をしていくほうが便利。他の地区で、そこと一括管理としたほうが良い。

委員長 では、管理や利用勝手のことを考えて、Aは農園に特化します。駐車場、駐

輪場、トイレも含めて農園として、苗圃は他の地区で考えます。

B地区

前回の意見では、「森林に接続する部分は森林、南側は花畑や草原」というのが一番大きな利用案で、「森林にする部分は、隣との関係に注意して樹木を配置」も考える必要があるという意見を踏まえて、北側の回廊コースに接続する部分を「樹木の復元ゾーン」。そして真ん中に通路を作り、通路沿いに樹木を配置して、散策や自然観察などを楽しみやすい環境を検討。南側は、「原っぱ・花畑ゾーン」として、通路を中心に、周りに花畑や原っぱを配置。

B地区への意見

- ・柳瀬川回廊と台田市有林のエントランスの位置で、市有林との植生の連続性を考えて、この先の森林のイメージが湧く形がふさわしい。
- ・低木から中木、高木への導入口というイメージ。
- ・森が近くにあって、オオムラサキのケージも近く、エサになるエノキも不足しているため苗圃の提案があったが、車で入れない、水が必要で、また、育てたら移動して、また新たに育て、植える場所を探すということで、一年中人が管理しなくてはならないので、農園などの近くが良いということで見送り。回廊の入口のため、2〜3年おきに苗木の抜き差しを繰り返すことも避けたいとの意見もあった。
- ・北側は雑木林と連反するような樹木、南側は今あるキンカンやウメなど人が楽しめるような樹木などを残した形の違った林にしていくと良い。毎月草刈りをしたり、花を植え替えるといった負担を軽減できる。
- ・花畑というよりも、例えば花木、低木の花木にして、あまり大きくならないようにすれば手入れもそれほど必要ないし、年に数回の作業で済む。雑木林の中にもこういう木があるという紹介にもなる。

委員長 大きく見れば、北側の樹木の復元ゾーンを雑木林と連反するような林にしながらかくして、南側に花や実を楽しめるような花木を置きます。通路は通れる幅でよいので、既存の回廊コースの通路と同じような幅が良いと思います。

C地区

多くの委員が「農園として使いたい」という意見で、「メインは農園で、一部に花畑を作ることも検討する」、「大きなケヤキもあり、残せる樹木は残す」、「駐車場をつくる許容性があってもよい」という意見を参考に配置。

C地区への意見

- ・市役所の資材置き場は、道路に面していて車の出入りもしやすいなどの理由があると思うが、柳瀬川通りの一番目立つ所にあり、見栄えが良くない。

- ・資材置き場はフェンスで囲ってあって、鍵もかけられるスペースなので、駐車場とすれば管理もしやすい。ここを駐車場として考えれば、他で駐車場を考える必要もなくなる。南側を体験農園にして北側を苗圃にするなど考えられる。

委員長 メインは体験農園で、苗圃の条件的にも、道路は問題なく、西は工場で日影などの苦情も考えられず、管理上問題なく、水も農園で使うので問題ありません。ここに農園と苗圃ということによろしいでしょうか。あとはバランスを考えて配置と面積を決めます。

D地区

「DとEを一体として考え、Eは公園、Dはそれに付随する花畑や農園」ということが大きな意見で、「季節の花を植える」という意見もあったが、全体を考えたときに「大きな駐車場が必要」という意見も重要な観点のため、Dの中心に有料の来客用駐車場を置き、周りに花壇をとという配置。

D地区への意見

- ・Eの真ん中付近の空白部分をDと交換できれば、Eが良い形になる。
- ・清瀬というのは農地が多いので、子どもたちが農業体験をするというのは、教育的にも意味がある。
- ・Dは樹木のある公園にするというのも、伊藤氏の意味に合っている。

委員長 駐車場は、今日の話でCである程度確保できているので、D、Eの利用者向けに限った収容台数だけ用意すれば、南側は別の利用ができます。柳瀬川通りに近いほうに利用者のための駐車場を設置して、図の来客用駐車場となっている部分を農地や樹林園として利用するのはどうでしょうか。話が前後しますが、E南側の現在の畑が、「遊具のある公園」になっていて、畑を潰して公園にしてしまうのはもったいないので、Dに遊具をおいた公園でも良いかと思います。

- ・雑木林からでた木材を使ったアスレチックのようなもので、子どもだけでなく、大人も使える健康に役立つ自然な感じの遊具を置きたい。
- ・清瀬の林は植生が豊かなため、保護するためにロープで入れないようにしている場所が多く、ここも自然に戻すと貴重な植生がでてくると思うが、子どもは木に思い切り登ったり、林の中を走り回りたいと感じると思うので、そういう場所をこの機会に何とか1箇所くらい作りたい。

委員長 D地区のうち、どれくらいそのようなスペースにするかにもよりますが、それほど大きくはなく、走り回れるかは分かりませんが、十分遊ぶ空間にはなると思います。では、より自然を活かしたような施設にしましょう。

北の方に駐車スペースを置き、面積のバランスは考えてもらい、南は樹木を植えてその根は保護しながら、その間で遊べる、あるいは林の発生材を使った遊具的なものを置くものとします。

E 地区

「公園」という意見が大きく、記念公園、憩いの空間、子どもの遊び場などいろいろなテーマがあり、ゾーン分けによって、それぞれ実現できないかを考えて配置。一番北側の道路沿いは、現在塀があって、塀沿いにベニスモモがあるが、道路が非常に狭いので、幅 2m 程度の歩行者通路を公園の敷地内に配置。その内側は、現在はサクラ、ベニスモモ、ツバキ、オニグルミ、エノキも多く、それに加えてハンカチノキ、季節感のある木を植栽して、交流広場として食事などを楽しめるスペース。中央は花畑で、ある程度大きな規模にして目玉となるようなスペース。南側は、「遊具のある子どもの遊び場」のスペース。全体として、幅広い年齢層が楽しめるように検討。

E 地区への意見

- ・ベニスモモで弱っているものは、移植、ケアの両方を考えていかななくてはならず、弱っているものは除きながら、新しいものを植えていく。
- ・真ん中の花畑は南の方に樹木が多く、これからハンカチノキ、コブシなどの季節感のあるものを植える。中央の花畑になっているところも樹木はあるが、それを切る必要はない。
- ・周りが宅地で、ベニスモモの多くが境界付近に植えられているので、越境で切らなくてはならず、形が悪くなる。古い木も多く、新しいものに植え替えることを考えなくてはならない。
- ・10 年くらい前は全面ピンクで、まさに桃源郷といえる素晴らしい場所だったので、元に戻したい。どこかでベニスモモを育てて、普通の桃源郷にしたい。

委員長 では、使い方については以上で、全体に言えることは、管理運営の方法を検討しなくてはならないということによろしいでしょうか。

その他

・この前 E 地区で茶の木があった部分が、まっさらになっていた。東側の住宅に隣接している部分も整理してあった。全てにおいて中は手を加えないでほしい。
事務局 では、総務課にも話しておきます。検討委員会の検討対象なので、なにか手を加えるときには、こちらにも声をかけていただくように伝えます。

【(2) 柳瀬川回廊構想のレビュー】

(今後 10 年の目標について、事務局から資料の読み合わせと補足説明)

- ・第六保育園の跡地を柳瀬川回廊計画に組み込んで、自然をそのまま残せば、台田市有林とつなげたい。⇒詳細不明のため、事務局の調査事項とする。

委員長 できれば、委員の意見を加えながら、もう少し具体化した 10 年後の目標が欲しいと思います。

- ・表の 6 番が完了になっているが、インフォメーションコーナーに私もよく行きますが、きちんと解説ができる説明員の配置が必要。インフォメーションコーナーはできたが、その先の活用の議論ができていない。

委員長 宿題：レビューについて、もう一度レビュー全体を見て、目的に対して実施状況の記述がふさわしいかと、今後の取組みに関する提案を、現場を良く知っている皆様から事務局に提案していただき、内容を濃くしていきたいと思っております。事務局は、提案がでてきたらこの地図に加えて、具体性を持たせてください。

今日は寄附地について、前回から 2 回扱いましたので、微調整はありうると思いますが、大きな使い方については後戻りしません。それからレビューに関しては、最終的には報告書として文書をださなくてはなりませんので、特に今後 10 年の目標については、より具体的なものを示していく必要があります。

次回日程：2/22（水）午後 1 時 30 分から、場所は清瀬市健康センター第 3 会議室。